

平成 30 年度公開農場実習 受講者アンケートまとめ（信州大学農学部）

演習科目 高冷地植物生産生態学演習
担当教員 濱野光市 他
実習日 平成 30 年 8 月 20 日（月）～8 月 23 日（木）
受講者数 57 名
回答者数 57 名

■高冷地植物生産生態学演習について (人)

楽しさ	大変満足	満足	普通	不満	大いに不満
	35	20	2	0	0
有益さ	大変有益	まあまあ	普通	あまり	全く
	43	12	2	0	0

【理由、感想】

- ・高冷地特有の農業について学べて、とても有意義だった。夜の自由時間もとても楽しく、実習について語ったり、とても有益な 1 日だった。
- ・高冷地の農業が伊那と違う。長時間することで身に付く。
- ・高冷地でしか体験出来ないこと、また長時間の実習でしか学べないことがあったから。
- ・いつもとは違った環境で、まるで農家になったような経験ができた。箱作りやマルチの回収など、農作業の範囲の広さを知った。
- ・農家の苦勞が体験を通じて少し理解できたから。野辺山の植生を見ることができたから。
- ・農業、野辺山の自然について様々なことを学べたから。
- ・今まで学んだ農業とは少し違っていたから。
- ・実際に農作業を経験出来て楽しかったしためになった。
- ・普段できない農作業について少しでも体験できて楽しかった。
- ・今まで知らなかったこと、体験したことのないものに触れることができ、農業についてより深い理解を得られたと感じたため。
- ・実際に農作物を収穫することにより、農業従事者の苦勞をこの身で味わうことができ、大変ためになった。
- ・現地でのみ得られる経験や、現役農家への質問の機会もあったため。
- ・普段とは異なる観点でキャベツを見ることができた。
- ・キャベツ収穫自体初めてで新鮮な体験であったから。また農業を勉強する身として、日本一の生産地で働けるのは有益であった。
- ・キャベツ収穫を始め、たくさんの貴重な経験ができた。
- ・キャベツの収穫法が分かった。
- ・キャベツの収穫が非常に有益だと思った。
- ・収穫を 1 日やるなど大変な事も多かったが楽しくできた。
- ・皆でキャベツを収穫し、食べることで食へのありがたみを感じることができた。とても良い 4

日間であった。

- キャベツ収穫は良い経験となった。しかしとても効率が悪く手が余る人が多かった。もっとやれることを増やすべきと思った。
- キャベツの収穫体験量が少し物足りなさを感じるが、全体としては日程も含め楽しかったと感じる。
- 様々な高冷地野菜の収穫ができ、楽しかった。
- キャベツやジャガイモの収穫の経験ができたから。収穫の仕方や箱詰めの方法、食味試験などいろいろなことを学べたから。
- キャベツの収穫、箱詰めという貴重な経験ができ、農家の大変さがよく分かった。キャベツの食べ比べをし、品種による味の違いが大きくあることが分かった。
- 高冷地という特別な環境で体験できたことや、実際に出荷までの流れを知ることができた。
- 実際に出荷作業までできたことが有意義だった。収穫の技術で等級が下がってしまうことを知り、利益を得たいのならば精進するしかないということを身を持って知った。
- 通常の実習では体験できない箱詰めや出荷作業を行うことができ、充実した 4 日間を過ごせたから。
- キャベツがスーパーに並ぶまでの作業を経験・学習することが出来、より食べ物に感謝しなければならなかったと感じた。
- 普段生活しているだけではできないような経験ができた。農学部の 1 人の学生として、日本や世界の様々な栽培方法や栽培環境などをもっと知りたいと思った。
- 普段伊那のキャンパスには体験できないことをたくさん体験できて、知識として蓄えられるものがたくさんあったので良かった。
- 貴重な体験だったから。
- キャベツの収穫以外に様々な体験ができたから。
- 日頃なかなか体験することのない作業ができたから。
- 今まで知らなかった自然を知り、野菜生産を知り、体験して学ぶことができたから。
- ここでしかできない体験ができたから。野菜生産についてさらに詳しく知れたから。
- 実際に体験して学べたことがあったので、とてもためになる実習だった。
- 普段体験出来ないようなことを多くすることができて、非常にためになった。
- ここならではの体験が多くできた。
- 初めての経験であったので多くのことを学べた。
- 普段出来ないことをしたり、見れないものを見たりできたため。
- 今まで行ったことのないフィールドでの演習ということで今まで知り得なかったことを直接体験することができた。
- そば打ちが楽しかった。学部ではできないようなことがたくさんできてとても楽しかった。
- 友達が増えた。普段喋らない人と喋れた。楽しかった。実際に体験しないと分からないことを学べたことで、大変勉強になった。
- コースの子とさらに仲良くなれた。キャベツの収穫やソバ打ちなど貴重な体験ができ、新しい発見が多かった。
- 大勢で生活することの楽しさや、実習による満足感があったから。
- 協力して普段出来ないことを出来たから。

- ・大勢での作業、生活は楽しかった。作業のバリエーションがもっとあればよかった。
- ・楽しかった。演習林の中も見てみたかった。
- ・自分の過ごす日常と離れた得難い4日間だった。
- ・もうちょっと時間をつめてやることを増やしたい。
- ・最終日の夕食がソバだけというのが少し悲しかった。

■各講義・実習の評価

(人)

	大変満足	満足	普通	不満	大いに不満	無回答
高原野菜・作物の栽培管理と収穫	40	16	0	0	0	1
そば（うどん）の加工実習	33	16	8	0	0	0
野生生物の観察・調査	22	25	9	1	0	0
農家見学/出荷施設見学	28	24	5	0	0	0
講義	19	29	8	1	0	0

【理由、感想等】

- ・キャベツの収穫がとても楽しかった。
- ・野菜収穫では実際に収穫を行うことで、品種の見分け方を理解でき非常に面白かったです。そば打ちでは、あまりうまく打てなかったことが残念に思いました。
- ・そば打ちは奥が深く、とても楽しかった（3名）。
- ・そば打ちが良かった。川上村の農家見学も初めて見て、良い経験になった。
- ・初めてのそば打ちはすごく楽しかった。太さはうどん並みだったけど、自分たちが一から作ったということで、おいしく食べることができた。
- ・特にそばの加工実習は、実家でも十割そばを打つことがあるため、自分もチャレンジしてみたいと思った。
- ・そば加工は初めての経験で楽しかった。先生が打ったそばとの味の違いに驚いた。
- ・そばを作ったのは自分にとっては初めての経験であったが、それなりにおいしいものが作れて良かった。また、海外でのそばを使った料理についての講義はとても興味深かった。
- ・そばの加工実習については手が荒れていたため、あまり関われなかった。
- ・そばの加工の難しさを身をもって実感したが、協力してそばを作ることは非常に楽しかった。
- ・そばがおいしかった。
- ・フィールドワークが楽しかったし、そば打ちを初めて体験することができたから。
- ・そばはアクティビティの一つとして出しているのだろうか？
- ・今まで体験したことのない農業やそば打ちなどを体験できて良かった。しかしそば打ちは、今後自分の人生にどう影響を及ぼすのかぴんとこなかったため普通とした。
- ・あまり料理には興味がない。
- ・昆虫や野生動物についてももう少し詳しく知りたかった。
- ・出荷施設はあまり見る機会がないし、どのようにして鮮度を保持しているのかを詳しく知れたので良かった。
- ・集荷場の様子を見れてとても勉強になった。キャベツとこれほどまで触れる機会はないように思う。

- ・出荷を体験できたことが良かった。
- ・農家の方がどのようなことをしているのか、少し身近に感じられた。
- ・大変だったけど、多くのことを学べた。特に農家見学は勉強になった。
- ・農家や集荷場を見学し、野菜はどのように流通し、利益はどのように還元されるかを目で見ることができた。
- ・野菜生産の現状を実感できたり、農家の方のお話を聞いたことが良かった。
- ・農家の大変さを体験できた。
- ・講義に関しては、もう少し掘り下げてもらっても良いかなと思った。
- ・講義内容も実習内容に即した内容で良かった。
- ・夜の講義は眠たかったです。
- ・どの実習も楽しかったのですが、夜の講義が眠たくてなかなか頭に内容が入ってきませんでした。
- ・楽しかったし、ためになった（2名）。
- ・体を動かしながら学ぶというのは楽しかった（2名）。
- ・初めて知り得た知見がもりだくさんだったから。
- ・全ての勉強は体験することで楽しさが増すから。
- ・普通できない貴重な体験ができた。
- ・様々な体験ができて良かった。
- ・体験を通して学習することでより力になった。
- ・自分の知らなかったこと、やったことがないような体験がほとんどだったので楽しかったから。
- ・これほど食について考えることはなかったため、とても勉強になった。
- ・学ぶ内容が、今まで知らなかったことに関するものがほとんどであったため。
- ・休憩も多く、充実した内容であった。
- ・涼しく、農作業が楽だった。
- ・パラポラアンテナの施設で働いている人から何か聞いてみたかった。

■演習参加後、興味関心が増大した事（複数回答）

（人）

食料	農業	環境	高冷地	野菜	家畜	その他	ない
16	29	12	31	31	1	4	0

【理由、感想等】

- ・農家さんの話を聞いて、食料生産をする上での重要なことが聞けたから。他の地域の食料生産はどのように行っているかが気になったから。
- ・川上村の農業はあんなに大規模だと思わなかった。
- ・体験を通して農業について理解が深まり、自然観察では今まで知らなかった植物を知ることができ、より興味が深まりました。
- ・農業の現状をより知りたいと思った。
- ・平地の農業とは大変異なっていて面白い。
- ・農業の大変さや収穫の楽しさを他人ごとではなく自分で体験して感じる事ができ、興味ができました。

- ・農家の仕事がどんなものか知らなかったので、経験できてよかった。
- ・農家さんがいかに尊い仕事をしているのかを体験し、その大変さを緩和できるよう自分に出来る事をしていきたいと思った。
- ・野辺山における植生を知ることが出来た。初めて聞く種名が多く、役に立つと思う。
- ・八ヶ岳はきれいだ。
- ・高冷地特有の生態を学べ、伊那との違いなどを知れたから。
- ・信州ならではの高冷地という環境で学べたことが良かった。
- ・高冷地で生育する植物に興味を持った。
- ・高冷地では昼と夜の気温差を利用した栽培方法だったが、日本や世界各地の自分の知らない環境での栽培についてもっと知りたいと思った。
- ・高冷地での調査は涼しく、珍しいため有意義だと思った。
- ・正直なところ、高冷地をもっと調べて稼げる野菜を探したい。
- ・高冷地の野菜がどのように出荷されているのか学ぶことができ、それらに関連するものへの関心が高まった。
- ・高冷地とはあまり縁がなかったのですが、どのような野菜生産が行われているのか知らなかったけれど、信州にいる今だからこそ、もっと高冷地における農業について知りたいと思った。
- ・高冷地の野菜についてあまり考えてこなかったため、これからはもっと深く調べていきたい。
- ・高冷地で作物を育てることの有益さなど学べた。
- ・高冷地の野菜のおいしさを感じたから。
- ・高冷地における棚田の相性はどのようなのだろうか。
- ・高冷地という特殊な環境での農業を体験し学べたから。
- ・高冷地の野菜や栽培環境に興味を持った。
- ・収穫などの作業で野菜、農業への興味が増し、4日間生活することで高冷地の良さをもっと知りたいと思えたから。
- ・高冷地の気候風土を活かした野菜生産に興味を持った。
- ・自分たちが普段利用している食材が別の国では全く違った形で利用されており、面白いと思った。キャベツなど、品種の分からないまま利用している食材がたくさんあり、どのような品種があるのか知りたい。
- ・3日間自分たちが収穫した野菜を使って自炊してみて、食へのありがたみがより深まった気がした。
- ・ふだん食べている野菜への興味が、より一層増した。
- ・野菜の品種ごとの違いをもっと知りたい（食べながら）。
- ・キャベツの食味試験の際に受けた講義で、品種表示の有無によって売り上げがどう変化するか気になったため。
- ・キャベツでも品種によって多くの違いがあることが興味深かった。
- ・特にベニバナインゲンの赤系品種の開発にとっても興味を持った。
- ・しっかりとした検査、チェックを受けて消費者に野菜が届くということが分かったので、これからは野菜を買うときに意識するようになると思う。
- ・出荷までの一連の流れの一部に関わり、体験することでより増した。
- ・同じ作物では場所や処理の仕方で異なる結果になることがさらなる関心事になった。

- ・スーパーで何気なく買っていた野菜を、次からはもっと注意深く見てみようと思った。
- ・野菜生産から動物生産へのつながりがあることを知り、家畜生産にも興味が出た。
- ・自分は知らない事ばかり。もっと知りたいと実習を終えて思った。
- ・様々な体験を通して興味関心が広がった。
- ・野菜を経験し、改めて果物が好きだと思ったから。
- ・大規模に栽培を行い、品薄の時期に出荷することで、売り上げ自体はあるのではないかと感じた。しかし農薬やハウスなどの維持に費用がかかりそうなので、実際はどうかと疑問に思った。
- ・作物を段ボールに詰めるために必要なダンボール折りや、出荷するためにつめたダンボールを積む、降ろす作業など、出荷までに必要な過程の中で、素人でもアルバイトで手伝えることや、どうすれば効率化できるかなどの作業を見極めることが大事だと思った。

■演習の内容、指導等についての要望、改善点

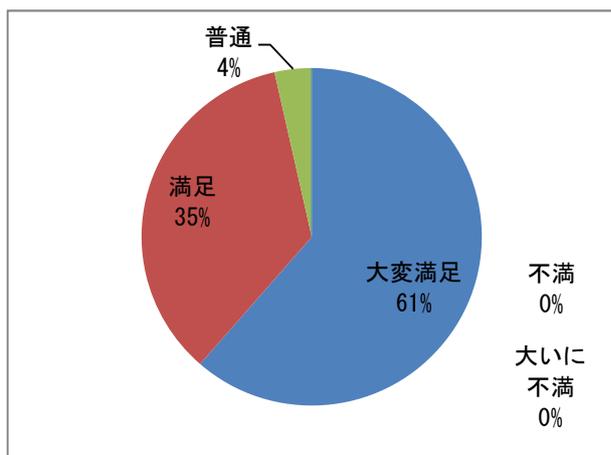
- ・軽登山と書いてあったけど、実際は登山とは程遠いものだった。軽登山ではなく、他の表現の仕方の方が準備をしやすいと思う。
- ・昼夜構わず騒ぐ学生が多い。
- ・事前に施設の整備について詳しく知りたかった。
- ・3日目の夜はもっとおかずが欲しかった。
- ・他の農家さんと同じく、1時起きで作業するのもありだと思います。
- ・2時起きの農家さんと同じリズムで作業してみたい。
- ・作業にバリエーションがあった方が勉強になるし、楽しいと思う。
- ・そばの説明を一気に40分ぶっ続けで口頭でされてもすぐに頭に入ってこないの、スライドか紙にポイントをまとめて欲しかった。
- ・講義でももう少し詳しいことが学べたらなと思った。
- ・休憩時間が短い。ご飯の量が多い。
- ・ご飯の量が多い。おやつは1日1回で良い。

■フィールド、施設、設備についての要望、改善点

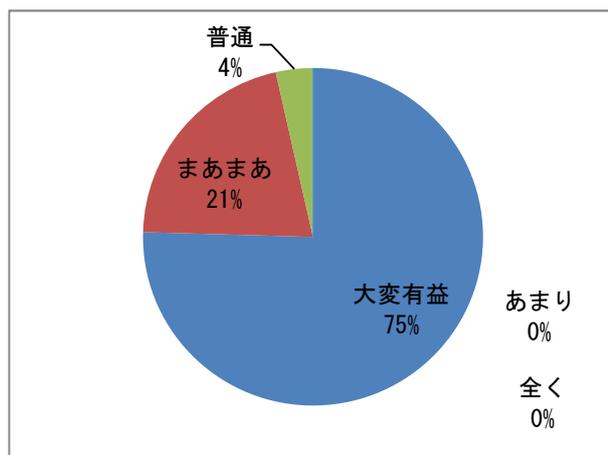
- ・宿の部屋にゴミ箱がなかったのが不便でした。
- ・数が多いのでは。
- ・二段ベッドのはしごが上りにくいので、手すりをつけるか斜めにするかして欲しい。
- ・キッチンを掃除するための金タワシなどがあると楽です。
- ・和室の壁の砂が落ちる。
- ・ドライヤー、洗濯機などの情報をしっかり事前に知らせて欲しかった。
- ・洗濯機があるということが事前に知らされていれば荷物を減らすことができたかなと思った。
- ・夜、玄関前の外灯を早目に消してもらえたら星をもっとキレイに見られたのになあと思いました。
- ・シャワー室の数を増やして欲しい。

■高冷地植物生産生態学演習について

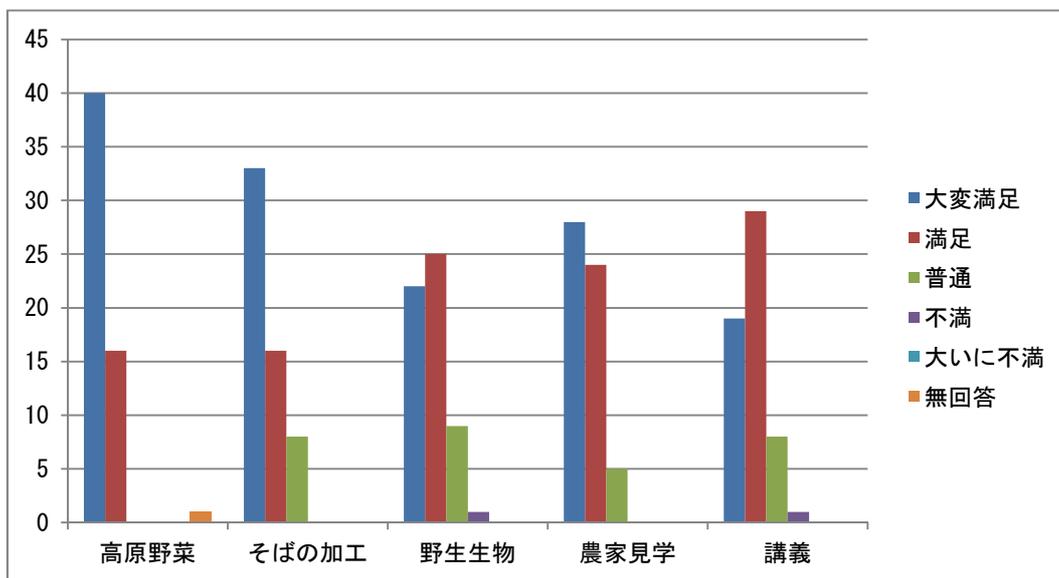
【楽しさ】



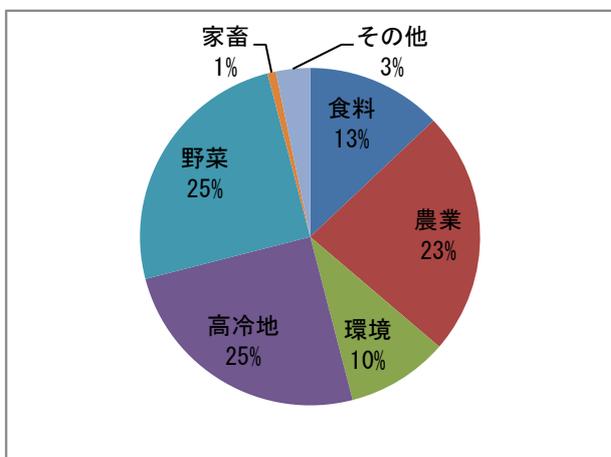
【有益さ】



■各講義・実習の評価



■演習参加後、興味関心が増大した事（複数回答）



その他：果物、出荷、農業による収益、必要な作業の種類

平成 30 年度公開農場実習 受講者アンケートまとめ（他学部生・他大学生）

演習科目 高冷地植物生産生態学演習
 担当教員 濱野光市 他
 実習日 平成 30 年 8 月 20 日（月）～8 月 23 日（木）
 受講者数 2 名（他学部生 1 名、他大学生 1 名）
 回答者数 2 名

■高冷地植物生産生態学演習について (人)

楽しさ	大変満足	満足	普通	不満	大いに不満
	1	1	0	0	0
有益さ	大変有益	まあまあ	普通	あまり	全く
	2	0	0	0	0

【理由、感想】

- ・高冷地の農業について知ることができた。毎日様々な活動をして楽しかった。
- ・普段なら絶対経験できないようなキャベツの収穫などが体験できて楽しかったです。

■各講義・実習の評価 (人)

	大変満足	満足	普通	不満	大いに不満	無回答
高原野菜・作物の栽培管理と収穫	1	1	0	0	0	0
そば（うどん）の加工実習	1	1	0	0	0	0
野生生物の観察・調査	1	1	0	0	0	0
農家見学/出荷施設見学	1	1	0	0	0	0
講義	1	1	0	0	0	0

【理由、感想等】

- ・普段生活しては見ることはないものを見れたため。

■演習参加後、興味関心が増大した事（複数回答） (人)

食料	農業	環境	高冷地	野菜	家畜	その他	ない
1	1	1	0	1	0	0	0

【理由、感想等】

- ・連作障害の対策や土壌について興味がわいた。
- ・実際に話で聞くのと自分でやってみたりすることが全然違ったので、さらに自分から経験できる機会があれば積極的に参加していきたいと思いました。

■演習の内容、指導等についての要望、改善点

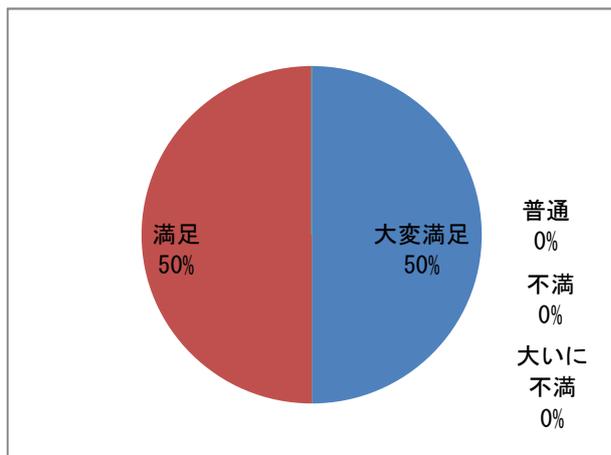
- ・特になし

■フィールド、施設、設備についての要望、改善点

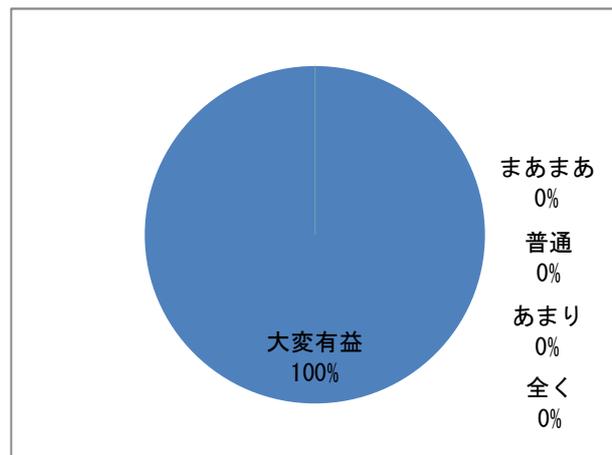
- ・特になし

■高冷地植物生産生態学演習について

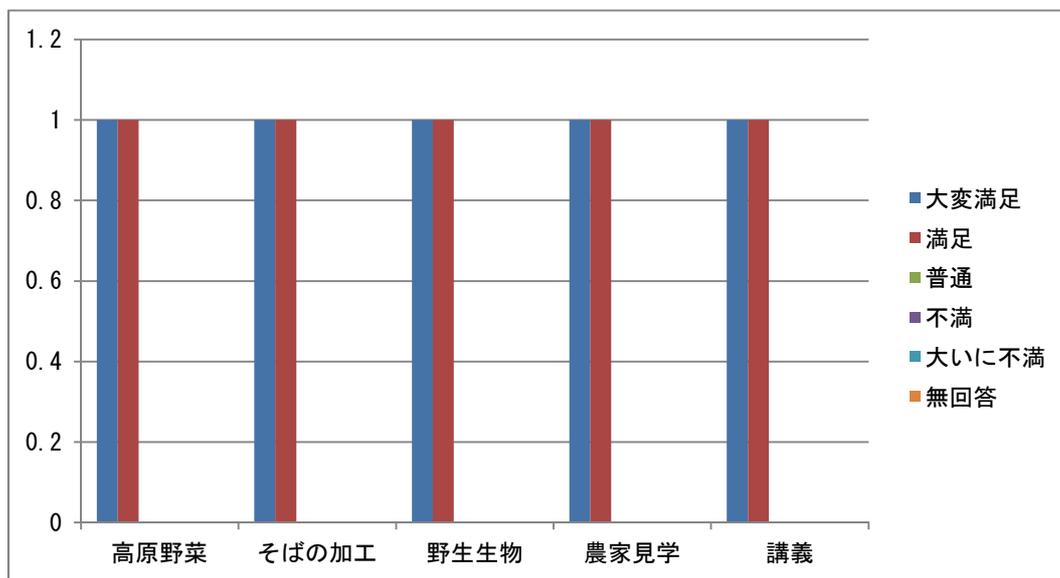
【楽しさ】



【有益さ】



■各講義・実習の評価



■演習参加後、興味関心が増大した事（複数回答）

